

記事・企画ご提案 (扶桑社 書籍編集部：担当 高橋香澄 TEL：03-5403-8870)

## 震災後、若い女たちはさらに【年の差婚(恋愛)】に向かう！？

5年ぶりの国勢調査(平成22年版 抽出速報)～未婚率、さらに上昇か!?

負け犬論争 婚活ブーム 婚活疲れ...そしていま、標的は「年上男性」へ!

間もなく、総務省から5年ぶりに「国勢調査 抽出速報」(平成22年版)が発表になります。

前回の調査(平成17年版)では30歳代の男女、とくに女性の未婚率が目立って上昇し、調査対象期間に起きた「負け犬(おひとりさま)論争」を象徴する結果となりました。

それから5年が経過した今回は、調査対象期間に「婚活ブーム」が起こったこともあり、一部では未婚率の減少(婚姻率の増加)を期待する声もありました。が、識者の間では「期待されたほどは伸びないだろう」「未婚率がさらに更新されるのでは?」との見方が大半です。

なぜ「婚姻率」が伸び悩んだのか?

昨年から、女性に広がる「年の差婚」願望との関係は?

先日(6月2日)発売されたばかりの、書籍『【年の差婚】の正体～なぜ同世代に惹かれないのか』(扶桑社新書)は、

明治大学文学部教授で、「婚育」の授業でも人気の心理カウンセラー・**諸富祥彦**(もろとみよしひこ)氏

「おひとりさま(マーケット)」「(05年)」と「草食系(男子)」「(09年)」で過去2回、新語・流行語大賞に最終ノミネートされた、マーケティングライター・**牛窪恵**(

うしくぼめぐみ)氏、

...の二人(共著)が、20～40代男女の最新の結婚観に迫った一冊。すでに多くのマスコミにも取り上げられました。

～今回、最新の国勢調査の結果(予測)について、**牛窪氏**は

「負け犬(おひとりさま)」「(04～05年)」が取り沙汰された数年後、「婚活ブーム」(08～09年)が起こり、若い女性の結婚意欲は高まったが、08年秋にリーマン・ショックが起こり、男性の結婚意欲が減退してしまった。結果として、男性の未婚率が予想以上に上昇した

婚活に乗り出した女性のうち、交際相手が見つかったのは2割どまり。10年には「いい男性がいない」と「婚活疲れ」を嘆く女性が増え、東京・墨田区のクリニックに登場した「婚活疲労外来」も話題を呼んだ。たびたび期待を裏切られ、「婚活うつ」になる女性もいるほど

.....と、調査対象期間となった、この5年間の経緯を分析します。



発売元：扶桑社

定価：760円(税別)

ユッキーナが、女子アナが、そして一般女性が...！

20代～アラサー女子の間に、突如として起こった「年上男」ブーム

...そして、昨年から若い女子に急増しているのが「結婚相手は、4～6歳上が理想」「7歳以上年上がいい！」と「年上男」を望む【年の差婚】現象。4人に1人以上がそう答えます。

- ・ ユッキーナ（タレントの木下優樹菜さん（当時22歳））が、17歳年上のFUJIWARA・藤本敏史さんと
- ・ 元お天気キャスターの女性（当時26歳）が、19歳年上のダウンタウン・松本人志さんと
- ・ フジテレビのアナウンサー中村仁美さん（当時31歳）が、12歳年上のさま～ず・大竹一樹さんと
- ・ 一般女性（当時22歳）が、17歳年上のネプチューン・堀内健さんと .....それぞれ結婚！

明治大学で教鞭をとる諸富教授も、ここ数年、大学生・大学院生に「早く結婚したい」「30歳までに第一子を産みたい」という「早婚願望」が強まっていることを実感しているそうです。その理由は2つ。

「婚活ブーム」によって、年齢が上になるほど、自分たちの「婚活市場」での価値が下がることに気づいた。

続く不景気と、漠然とした将来不安から「結婚して安定したい」という、経済的・精神的安定を強く求めるようになった。

そして、「早婚願望」から、結婚相手として年上男性に目を向けるようになってきたのです。

40代男性が20代女性と結婚できるチャンス到来??

かつては、「年上といっても4,5歳差だよ」と言っていた若い女性たちが、取材でも「10歳上もありだよ」と明らかに変わってきた、と牛窪氏。彼女の分析によれば、若い女性が「年上男」を望むようになった理由は以下の3つ。

「婚活ブーム」や「反負け犬論争」世代の先輩年上女性をみていると、幸せそうにみえない。仕事に対する失望感や震災後の不安もあり、「結婚して安心感を得たい」との思いが高まった

しかし、景気の減退や「草食系男子」（おもに20代）の増加で、同年代との恋愛が結婚へと進展しない。ふと「年上男」に目をやると、未婚男性が30代後半で3人に1人、40代で5人に1人もいる。彼らは年収や精神的な面で比較的安定しており、安心感を感じさせる。

そこで、とりたてて高年収でもイケメンでもない、一般的な40代男性が、急にモテ始めたのです。

震災後、「震災婚」などという言葉が聞かれますが、世の中が不安定ないま、「伴侶をえたい」「家族をつくりたい」という願望が全世代的に高まっています。そして、若い女性たちの「早婚願望」と「年の差婚あり」の風潮。これは、40代男性にとってチャンス！「国勢調査」をフックとして、30代後半～40代男性向けの結婚特集の、一つの切り口としてご提案させていただきました。

< 諸富教授・牛窪氏からのメッセージ >

時代に敏感で洗練された女子たちは、いま【年の差婚（恋愛）】に目を向けています。「60代の男性もストライクゾーンよ」と話すレディガガも、その象徴。年齢という枠にとらわれず、素顔の自分に合ったパートナーを意欲的に探す女子こそが、近い将来、未婚化・少子化に歯止めをかけてくれるでしょう